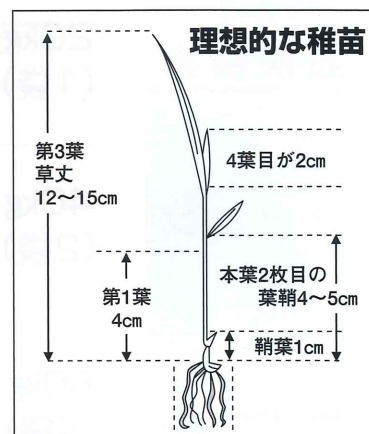


苗づくりのポイント

水稻種子は必ず毎年更新しましょう!!

➡ 産地品種銘柄の確認

- ※JAからの購入種子は、塩水選は不要です。また、種子は消毒剤が粉衣されています。(種子消毒済)
- ※夢たんばの種子は温湯消毒用ですので、各営農経済センターへお申し込み下さい。



※ 月 日 の欄には自家での計画を記入して活用下さい。

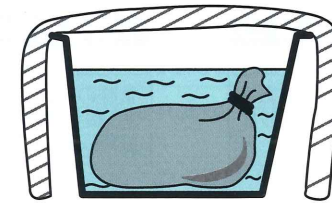
浸種
月 日
播種の10日前



- 水温10℃で6~8日
- 水温15℃で4~5日
- ・最初の2日間は種子消毒のため水を交換しない。
- ・3日目からは酸素補給のため毎日水を交換する。

・浸種ムラをなくすため水を時々かくはんする。
・袋には7割程度モミ種を入れる。

催芽
月 日

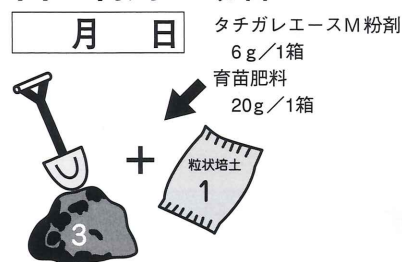


- 30℃で2日間
- ・粉がハト胸程度。
- ・桶で温度維持をして浸漬する。
- ・浸種が不十分だと催芽ムラがおこりやすい。

(半日程度陰干しする)
・粉の水分を十分切る。

床土の準備

山土利用の場合



・床土は1箱当たり約4ℓ。

粒状培土利用の場合



水分調節がしやすく
良質苗が出来る。
肥料・農薬とも不要。

育苗資材の消毒

(ケミクロンG
500倍液瞬間浸漬
又はジョウロ散布)



- ・育苗器・保温シートもジョウロで消毒。(日陰で行う)
- ※消毒後、水洗いする。

かん水



十分にかん水する。

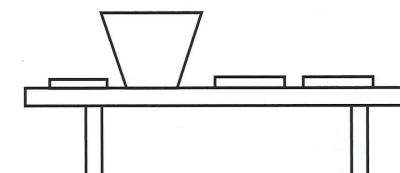
かん水不足は
根の浮き上がりや
発芽不揃いの
原因になる。

苗立枯病の予防

ダコレート水和剤
600倍液を箱当たり
500mlかん水する。
(10ℓで20箱分)
(夢たんばは使用しない)

播種と覆土

うす播きの励行
1箱当たり催芽粉150gとする。
(酒米は170g)



JA水稻苗の配達後の管理

○緑化苗、中間苗の管理

- ・苗は、播種後約1週間の苗(但し中間苗の場合は播種後約2週間の苗)ですので、次のことに注意して下さい。
- ・強い直射日光に当てない。
- ・温度管理に注意する。
(昼...20℃~25℃、夜...10℃以上で管理)
- ・苗は極端な低温や、高温にあわせないようにする。
- ・夜間は保温シートで対応するなど、工夫が必要です。
(低温障害-根張りが悪く、ムレ苗・病気の発生)

○硬化苗の管理

- ・温度管理に注意する。
(昼...20℃~25℃、夜...10℃以上で管理)

○ムレ苗防止

- ・健苗育苗のためかん水過多には注意する。
- ・ハウスの温度管理において晴天時には朝早くに開け、雨天等で温度を保ちたいときは夕方早く閉める事が望ましい。

田 植

月 日

本田栽植密度
坪当たり60株がめやす。

いもち病 イネミズゾウムシの予防

- ・田植前に箱施用剤を均一に散布する。
(散布時期:散布量は薬剤の使用法を確認する)

■苗に付着した粒剤を払い落とし、軽く散水する。

月 日

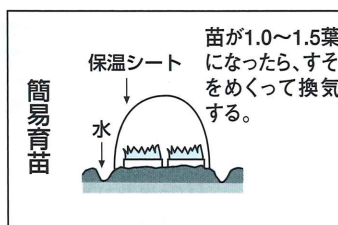
硬化

適温
昼20~25℃
夜10℃以上

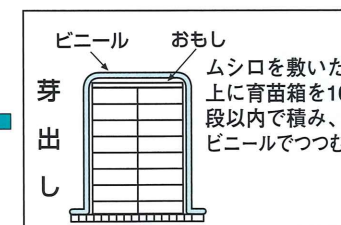
- ・伸びすぎないように換気する。
- ・苗立枯病予防とムレ苗防止としてダコレート水和剤の1000倍液を、箱当たり500mlかん水する。



月 日

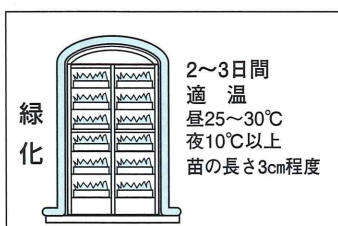


月 日

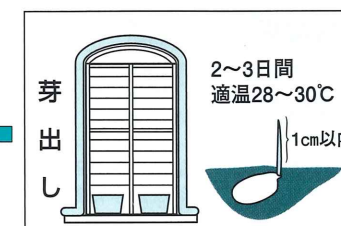


露地育苗

月 日



月 日



育苗器